

基本方針、主な取組み及び予算要求の状況

●平成27年度の基本方針

健全経営確立のため、これまで、料金改定に加え、経費削減や収入の確保、包括委託による未収金の低減など、可能な限りの経営手段を講じてきました。しかし、水需要の落ち込みが大きく、新年度の収益的収支予算は、支出が収入を上回るという、料金改定前の平成22年度予算と同様の厳しい編成を余儀なくされました。

一方、耐震化を始めとする施設整備は、安全な水の安定供給に不可欠であり、財源確保のもと計画的な整備が必要です。

これまでに増して厳しい対応を迫られますが、持続可能な水道事業に向け、より効率的な事業運営に全力で取り組むとともに、効果的な施設整備を進め、ライフラインとしての責務を果たしてまいります。

●平成27年度の主な取組み

- 1 厳しい台所事情に配慮しながら、施設整備計画等に基づき、幹線管路及び重要給水施設への大口径水道管などの耐震化並びに水道施設の適正な更新を実施します。
- 2 第4次拡張整備事業として、堀山下高区配水場整備の基本及び実施設計に着手します。
- 3 水道料金の徴収率を向上し、未収金の低減を図るとともに、利用者へのより質の高いサービスの提供にさらに努めます。
- 4 安全性を最優先に確保しながら、これまでの経営努力を継続するとともに、水道使用量の減少を少しでもくい止めるため、水道の安全性や水道事業の重要性を理解してもらえよう努めます。
- 5 平成28年度からの施設整備計画及び財政計画を策定し、安定経営を持続するため、なるべく景気変動に影響されない、また、利用者負担がより適正になるような料金体系を検討します。
- 6 より効果的な組織執行体制を目指し、平成28年4月に上下水道部局の組織統合が円滑に行えるよう、その準備に万全を期して臨みます。

●平成27年度予算要求の状況

課等名	27年度予算						26年度予算		備考
	要求額	対前年度予算		一般財源額のうち 業務運営費	対前年度予算		当初予算額	一般財源額のうち 業務運営費	
		増減額	増減率		増減額	増減率			
3条予算	2,734,938	△ 27,077	△1.0%	2,685,635	△ 18,286	△0.7%	2,762,015	2,703,921	
水道業務課	1,605,420	△ 49,100	△3.0%	1,590,636	△ 25,210	△1.6%	1,654,520	1,615,846	
水道施設課	1,129,518	22,023	2.0%	1,094,999	6,924	0.6%	1,107,495	1,088,075	
4条予算	1,437,680	△ 42,711	△2.9%	1,007,188	△ 66,526	△6.2%	1,480,391	1,073,714	
水道業務課	551,022	17,579	3.3%	527,430	4,378	0.8%	533,443	523,052	
水道施設課	886,658	△ 60,290	△6.4%	479,758	△ 70,904	△12.9%	946,948	550,662	
部等の計	4,172,618	△ 69,788	△1.6%	① 3,692,823	△ 84,812	△2.2%	4,242,406	② 3,777,635	

主な「歳入確保」及び「歳出削減」、行政評価への取組み

●歳入確保への取組み 単位:千円		●歳出削減への取組み 単位:千円	
取組内容	効果額	取組内容	効果額
[経営努力]駐車場収入(新町・西大竹)	180	[経営努力]県水受水量見直し	▲ 1,300
本町第6取水場売却	2,325	[経営努力]水質検査体制見直し	▲ 778
		[経営努力]防災物品執行方法見直し	▲ 975
		[経営努力]車両更新見送り	▲ 1,044
		[経営努力]量水器取替執行方法見直し	▲ 2,278
		[経営努力]施設更新方法見直し	▲ 12,000
計	2,505	計	▲ 18,375
効果額(計)		前年度より 20,880千円 削減	

●行政評価結果への対応状況

No.	担当課等	事業名	行政評価結果	予算や取組みへの反映状況
1				
2				
3				
4				
5				

●平成27年度水道局の主な事業の概要

No.	区分	行政評価結果	事業名等	担当課 (関連部課)	事業費 (千円) ※下段の()内は前年度予算額				事業概要		
					全体 【事業年度】	新年度要求額	国庫・県費	地方債		その他特財	一般財源
1	最重要	—	導水管送水管耐震化事業費	水道施設課	3,310,000 【 23～32 】	76,010 (161,270)		66,000 (120,000)		10,010 (41,270)	《水道施設整備計画》 計画で優先順位の高い導水管である基幹管路を中心に、輻輳する配水管を含めて水道管の耐震化を進める。 導水管0.550km(導水管と同一箇所の配水管0.150km) φ 200mm L=0.550kmの耐震化事業(配水管φ 450mm L=0.150km)
2	最重要	—	配水管改良事業費	水道施設課	1,400,000 【 23～32 】	266,051 (310,335)		210,000 (220,000)		56,051 (90,335)	《水道施設整備計画》 災害時に備えて、重要給水施設への配水管を中心として、老朽している水道管の布設替えとともに耐震化を進める。 配水管(本町・南・大根・西・鶴巻地区) φ 75～300mm L=2.015kmの耐震化事業
3	最重要	—	配水管拡張事業費	水道施設課	750,000 【 23～32 】	54,504 (56,100)		52,000 (40,000)		2,504 (16,100)	《水道施設整備計画》 公共下水道事業等の他事業の工事に合わせて、配水管の未整備箇所における新規整備により耐震化を進める。 配水管(本町・南・東・西地区) φ 75～150mm L=0.550kmの耐震化事業
4	最重要	—	幹線管路耐震化事業費	水道施設課	2,388,470 【 23～32 】	71,297 (36,900)		52,000		19,297 (36,900)	《水道施設整備計画》 1 幹線管路として位置づけた県水送水ルートを送水管耐震化事業として、詳細設計を実施する。 2 県水送水管の改良工事を実施する。
5	最重要	—	施設耐震化事業費	水道施設課	186,100 【 23～32 】	13,000 (51,800)		(10,000)		13,000 (41,800)	《水道施設整備計画》 千村配水池について、診断結果に基づく耐震工事実施設計委託を実施する。
6	最重要	—	施設整備事業費	水道施設課	449,740 【 23～32 】	88,950 (84,123)		17,000 (10,000)		71,950 (74,123)	《水道施設整備計画》 1 水源開発などの施設整備を進める。 柳川水源ポーリング工事 芹沢取水場改修造成計画委託等 2 東日本大震災を教訓として、必要な非常用飲料水貯水槽に緊急遮断弁の設置を行う。
7	最重要	—	第4次拡張整備事業費 (堀山下高区配水場整備事業費)	水道施設課	512,000 【 23～32 】	30,000				30,000	《水道施設整備計画》 第4次拡張整備事業として、堀山下高区配水池の配水区域におけるポンプ圧送地区の解消と新東名高速道路のサービスエリアへの給水に対応するため、配水場整備の基本及び実施設計に着手する。 ・堀山下高区配水場整備基本及び実施設計委託業務
8	最重要	—	第4次拡張整備事業費 (寺山配水場整備事業費)		【 23～32 】	2,000				2,000	《水道施設整備計画》 第4次拡張整備事業として、寺山配水池の測量に着手する。 ・寺山配水池測量委託業務
9	最重要	—	緊急時対策施設整備事業費	水道施設課	2,155,000 【 23～32 】	193,000 (164,640)		3,000		190,000 (164,640)	《水道施設整備計画》 緊急時対策としての施設整備を進める。 1 金井場配水場及び城山配水場高圧盤更新実施設計の委託 2 城山配水場遠方監視装置更新工事及び本町系中央監視整備工事 3 広畑配水場外施設の改修工事
10	最重要	—	水道料金等業務包括委託事業費	水道業務課	644,120 【 23～28 】	123,674 (119,754)				123,674 (119,754)	《水道事業計画》 水道事業計画に基づき、水道料金・下水道使用料の賦課・徴収業務の包括民間委託によるサービス向上及び未収金解消を進める。